

統計調査ニュース

令和3年（2021年）11月

No.420



新たなフェーズに踏み出す地方のデータ利活用

統計データ利活用センター長 赤谷 俊彦

去る10月18日、「第6回 地方公共団体における統計データ利活用表彰」の受賞団体を決定、公表いたしました。

「統計データ利活用表彰」は、客観的な統計データに基づく確かつ効率的な行政運営を促進する観点から、統計データを利活用した優れた取組を進める地方公共団体に対する表彰を行うものとして、平成28年度から実施しており、今年度で第6回目を迎えました。本事業に対しては、これまでも多くの地方公共団体の皆様に御協力をいただいております。今年度は、全国から55事例という多数の御応募をいただきました。内容としても、行政施策の立案や行政サービス改善、人材育成の取組など多岐にわたるものとなっております。

審査の結果選ばれた、総務大臣賞、統計局長賞及び特別賞は次のとおりです。

【総務大臣賞】

佐賀県佐賀市

「介護予防DX～データを活用した介護予防推進事業～」

【統計局長賞】

兵庫県神戸市

「日本初の神戸市のヘルスケアデータ連携システムについて」

【特別賞】

埼玉県ふじみ野市

「EBPM研究会」

滋賀県大津市

「大津市EBPMの推進に向けたデータ分析業務（移住・定住促進に向けた分析）」

大阪府

「自治体SDGsの推進に向けた自己分析モデルの構築」

長崎県

「大学生の就職意識に関する分析について」

今年度の受賞作品の特徴としてまず目につくのは、医療・介護分野で高い評価を得た取組が複数あった点です。EBPM（Evidence Based Policy Making、証拠に基づく政策立案）の歴史をひもとくと、その発祥はEvidence Based Medicine（証拠に基づく医療）であったことから分かります。一人ひとりの健康を守るために

は、統計的手法に基づくデータ分析が極めて有効であることが各地方自治体においても実感されているのではないかと考えます。

また、表彰の回数を重ねるごとに、応募取組の全体的な質の向上も見られています。すなわち、「取りあえずデータを分析してみた」から「具体的なニーズや施策の効果に係る仮説に基づく検証として、有効と思われるデータを探し分析した」取組へと、年を追うごとにレベルが確実に上がっているところであり、これは審査を担当する者としてもうれしい悲鳴を上げる事態となっています。

地方自治体におけるEBPMの推進は、行政サービスの質の向上に直結するものであり、ひいては行政サービスを楽しむ顧客たる住民の皆様の幸せにつながるものです。統計データ利活用センターは、今後ともこれら地方自治体の取組をお支えし、データ利活用の先にある改善・改革を後押ししてまいります。

目次

新たなフェーズに踏み出す地方のデータ利活用	1
「2021年度 統計関連学会連合大会」等に参加して	2
「令和3年秋の叙勲」	3
統計研修生募集の御案内	
— 令和3年度第4四半期（令和4年1～3月）—	4

令和3年度統計研修受講記	5
小売物価統計調査（構造編）2020年（令和2年）結果の概要	6
とうけい通信⑦	7

「2021年度 統計関連学会連合大会」等に参加して

統計局、政策統括官（統計制度担当）、統計研究研修所及び独立行政法人統計センターは、統計技術の研究その他統計の改善発達に資することなどを目的として、統計関連の6学会（別掲）に団体会員として加盟しており、毎年、いずれかの大会において研究成果を発表しています。

ここでは9月及び10月に開催されました「2021年度統計関連学会連合大会」、「経済統計学会第65回全国研究大会」の概要を紹介します。

I 「2021年度 統計関連学会連合大会」

9月5日（日）から9月9日（木）にかけて、2021年度統計関連学会連合大会が開催されました。

本大会は、応用統計学会、日本計算機統計学会、日本計量生物学会、日本行動計量学会、日本統計学会、日本分類学会の6学会の主催により開催されています。

当初は長崎大学において、現地開催とオンライン開催の併用（ハイブリッド開催）が予定されていましたが、コロナ禍の影響により、完全オンラインによる開催となりました。

今年度の大会の構成は、以下のとおりです。

- チュートリアルセッション
- 市民講演会
- プレナリーセッション
- コンペティション講演
- 特別企画セッション
- 企画セッション
- 一般セッション

今大会では、プレナリーセッション1件、コンペティション講演27件、特別企画セッション1件、企画セッション84件、一般セッション167件の講演が行われました。また、参加登録者数は、チュートリアルセッションが約380名、市民講演会の参加者が約200名、本大会の参加登録者数は約810名でした。

統計局等からは、以下のテーマについて、発表講演を行いました。（敬称略）

9月7日（火）14:40～15:00 一般セッション

【経済・経営統計（2）】

- 経済センサスの個票データを用いた匿名化マイクロデータの作成可能性の検討
- 横溝 秀始（（独）統計センター）、伊藤 伸介（中央大学）

9月8日（水）15:30～15:50 一般セッション【統計教育】

- 統計データの利活用推進に向けた統計センターの取組み
- 伊藤 直人、下川原 由佳（（独）統計センター）

9月9日（木）11:20～11:40 一般セッション

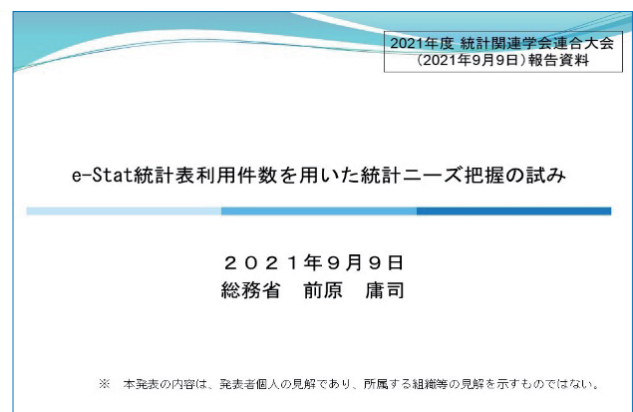
【公的・民間統計（1）】

- 民間データを活用した総消費動向指数の結果の改善について
- 櫻井 智章（統計局消費統計課）

9月9日（木）11:40～12:00 一般セッション

【公的・民間統計（1）】

- e-Stat統計表利用件数を用いた統計ニーズ把握の試み
- 前原 庸司（政策統括官（統計制度担当）室）



発表内容の一部

II 「経済統計学会 第65回全国研究大会」

10月16日（土）から10月17日（日）にかけて、経済統計学会第65回全国研究大会がオンライン開催されました。

今年度の大会の構成は、以下のとおりです。

- 企画セッション
- 一般報告
- 2021年度学会賞選考報告
- 特別講演

統計局等からは、以下のテーマについて、発表講演を行いました。（敬称略）

10月16日（土）9:30～11:30 一般報告

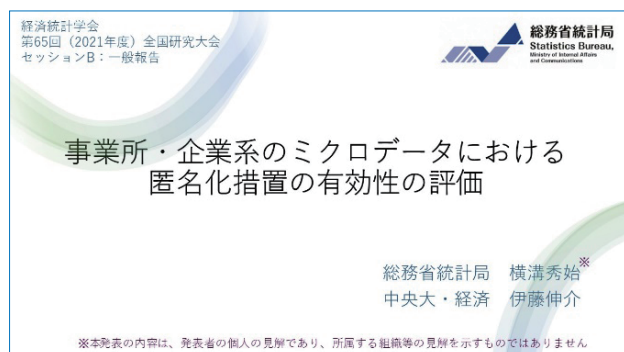
○民間データを活用した総消費動向の結果の改善について

櫻井 智章（統計局消費統計課）

○事業所・企業系のマイクロデータにおける匿名化措置の有効性の評価

横溝 秀始（統計局統計データ利活用センター），

伊藤 伸介（中央大学）



発表内容の一部

加盟学会の今年度の大会スケジュール（日程順）

日本人口学会 - 第73回大会

6月5日（土）～6日（日）

日本統計学会（統計関連学会連合大会）

9月5日（日）～9日（木）

日本経済学会 - 秋季大会

10月9日（土）～10日（日）

経済統計学会 - 第65回全国研究大会

10月16日（土）～17日（日）

地理情報システム学会 - 第30回学術研究発表大会

10月30日（土）～31日（日）

日本品質管理学会 - 第51回年次大会研究発表会

11月13日（土）

「令和3年秋の叙勲」

政府は、11月3日に、「秋の叙勲」の受章者を発令しました。

総務省における統計関係では、永年にわたり国勢調査を始め各種統計調査に調査員として従事し、調査実施に多大な貢献をした次の方々が、勲章の榮譽に浴されました。栄えある受章にお祝い申し上げます。

【勲章受章者】

○瑞宝双光章

須藤 久幸（北海道）

○瑞宝単光章

田代 芳嗣（北海道）

杉測 誠司（北海道）

奥村 良吉（北海道）

佐藤 睦美（青森県）

澤村 節子（青森県）

差畑 忠一（岩手県）

千葉 慎夫（岩手県）

阿部 良男（岩手県）

阿部 敏光（宮城県）

高塚 雅文（宮城県）

志田 秀子（山形県）

菅野 佐市（福島県）

齋藤 勲（福島県）

藤沼 依子（茨城県）

上岡 友江（栃木県）

栗原 典夫（群馬県）

杉山 恵子（埼玉県）

佐藤 嘉祐子（埼玉県）

※敬称略

落越 道子（埼玉県）

鎌田 洋子（埼玉県）

大塚 洋子（千葉県）

奥山 理恵子（千葉県）

土屋 紀子（千葉県）

佐久間 正夫（千葉県）

鈴木 定雄（東京都）

高橋 清一（東京都）

守田 真弓（東京都）

中山 千恵子（東京都）

萩原 弘子（東京都）

荒木 美津子（神奈川県）

小波 貞子（神奈川県）

渋谷 とし子（神奈川県）

藤井 春美（新潟県）

桐澤 清子（新潟県）

小林 喜一（新潟県）

若月 雅美（新潟県）

菊池 幸子（富山県）

中村 二六子（石川県）

舟木 和子（福井県）

森田 操（岐阜県）

水野 加津美（岐阜県）

植田 多鶴子（静岡県）

小塩 悦子（愛知県）

日比 玲子（愛知県）

増田 壽満子（三重県）

北居 孟（滋賀県）

土手下 春子（滋賀県）

三根 千賀子（大阪府）

奥 信子（大阪府）

大木 洋子（大阪府）

清水 恵子（兵庫県）

宮奥 和子（奈良県）

稲村 文男（島根県）

藤本 貞務（岡山県）

大西 邦満（岡山県）

和氣 美保子（岡山県）

中島 三喜子（広島県）

吉武 和子（広島県）

西川 茂子（徳島県）

木村 正子（香川県）

石橋 辰子（福岡県）

松下 由美子（長崎県）

辰口 伸子（大分県）

▶▶▶ 統計研修生募集の御案内 ◀◀◀

ー 令和3年度第4四半期（令和4年1～3月） ー

総務省統計研究研修所では、国・地方公共団体の職員（教員を含む。）及び政府関係機関の職員に対し、統計リテラシーの向上などを目的として、様々な研修を実施しています。

令和3年度第4四半期（令和4年1～3月）に実施する研修は下記のとおりです。研修内容の詳細や募集締切りについては、府省等、都道府県及び市区町村に別途送付する「統計研修の募集要項」又はポータルサイト「統計研修ひろば」を御覧ください。

◇ 人口統計コース「人口推計」

- ▶ **研修概要** 人口の将来推計などを行うための知識と手法について学び、演習も実施します。
- ▶ **研修期間** 令和4年1月17日（月）～1月21日（金）
- ▶ **研修科目**
 - ・ 現下の人口問題
 - ・ 推計のための人口基礎理論
 - ・ 人口の将来推計
 - ・ 世帯の将来推計
 - ・ 労働力人口の推計

◇ 政策立案・評価・データ利活用コース

「ビッグデータ利活用 - 基礎から応用まで -」

【ライブ配信も実施】

- ▶ **研修概要** 公的統計におけるビッグデータ、民間のビッグデータの現状、ビッグデータを活用する際の注意点等を紹介します。
- ▶ **研修期間** 令和4年1月27日（木）～1月28日（金）
- ▶ **研修科目**
 - ・ ビッグデータの概要
 - ・ ビッグデータを身近に活用する方法
 - ・ ビッグデータとパーソナルデータ
 - ・ 個人情報保護の方策について
 - ・ ビッグデータ利活用のための枠組み
 - ・ ビッグデータの活用事例

◇ ミクロデータコース

「ミクロデータ分析 - Rによる統計解析 -」

- ▶ **研修概要** ミクロデータの分析のための知識と技術を学び、擬似ミクロデータを用いた演習を行います。
- ▶ **研修期間** 令和4年2月1日（火）～2月4日（金）
- ▶ **研修科目**
 - ・ 統計解析ソフトウェアRとミクロデータ分析の基礎
 - ・ 標本抽出法と標準誤差の評価
 - ・ ミクロデータ分析の実際

◇ 地域分析コース「GISによる統計活用」

- ▶ **研修概要** GIS（地理情報システム）を用いた統計データの可視化と活用事例を学ぶとともに、ビッグデータによる分析事例を紹介します。
- ▶ **研修期間** 令和4年2月9日（水）～2月10日（木）
- ▶ **研修科目**
 - ・ GISの概要
 - ・ GISの活用事例
 - ・ QGISの基本
 - ・ QGISの演習

◇ 地域分析コース「地域分析」

- ▶ **研修概要** 地域における少子高齢化や人口動向、産業構造の実態を通して、地域分析の知識と分析手法を学ぶほか、GIS（地理情報システム）の活用を学びます。また、RESAS（地域経済分析システム）を用いた経済・観光などの地域分析を学びます。
- ▶ **研修期間** 令和4年3月1日（火）～3月4日（金）
- ▶ **研修科目**
 - ・ 地域分析と地域人口推計の基礎
 - ・ 地域世帯推計
 - ・ 小地域人口推計とGIS
 - ・ RESASを用いた地域分析

※「令和3年度統計研修のご案内」（パンフレット）から、一部日程を変更しています。今後も変更の可能性がございますので、応募締切り等の詳細は、各機関に送付する募集要項を御確認ください。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、集合研修を中止又はライブ配信によるオンライン形式に変更する場合があります。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、開催を延期しておりました下記の研修については、本年度は中止とさせていただきます。

<統計作成実務コース>

- ・ 指数に関する研修 - 鉱工業指数を中心に -
- ・ 産業連関表の作成・分析
- ・ 社会調査

問合せ先：統計研究研修所研修企画課企画係

TEL：042-320-5874

E-mail：o-kenkikaku@soumu.go.jp

統計研修ポータルサイト「統計研修ひろば」を御活用ください！

総務省統計研究研修所では、統計研修担当者及び研修受講希望者の利便性を図るため、国家公務員及び地方公務員に向けた統計研修の受講案内等を掲載した統計研修ポータルサイト「統計研修ひろば」を政府統計共同利用システム内に開設していますので、積極的な活用をお願いいたします。

【ポータルサイト掲載項目（主なもの）】

- 統計研修一覧（募集案内、開催予定、シラバス等）
- 受講申込方法（募集要項、推薦書様式等）
- 自主学习用教材
- 統計研究研修所の概要

【統計研修ポータルサイト（統計研修ひろば）】

URL： <https://t-kensyu.sbj.nstac.hq.admix.go.jp>

※閲覧には、政府共通ネットワーク又は総合行政ネットワーク（LGWAN）に接続している必要があります。

令和3年度統計研修受講記

令和3年度「統計利用の基本」を受講して

文部科学省 科学技術・学術政策研究所第2調査研究グループ 浅見 陽子

私が所属している文部科学省科学技術・学術政策研究所（NISTEP）は、日本の科学技術や学術振興、科学技術・イノベーション創出に関わる政策のための国立試験研究機関です。政策立案のエビデンス作成を担っていますので、各調査研究部門では各研究官が様々な手法を用いて調査研究データを集め、それを利用した政策立案に資する資料を作成しています。私は研究官の事務補佐をしており、統計資料の扱い方を学ぶことで更に業務に役立てるようになりたいという気持ちから本研修に参加しました。

5月から6月にかけて「統計担当者向け入門（5月）」、「統計利用の基本」、「調査設計の基本」、「統計分析の基本」と計4回の講座を受講しましたが、コロナ禍ということもあってオンライン受講となりました。そのため業務と併行しながらの受講が可能となったことで、かえって時間をやりくりして有効に活用できたように思います。講義と業務を同時進行させていた場合など理解度が低かった部分もあったのですが、各講座で見逃し配信も御用意いただいたことから繰り返し視聴して復習できたこともあり、充実した2か月となりました。

オンライン授業についてですが、やはりデジタル・トランスフォーメーションを推進している総務省であることから、統計研究研修所による細やかで分かりや

すい対応がありました。受講の3日前には各受講者に配信視聴用URLが届き、受講後には見逃し配信URLが送信されました。チャットボックスによる双方向での質疑応答が可能でしたので、例えば講師がエクセルで統計資料を高速で作成する途中でも「表作成中にF4ファンクションキーを多用しているようですが、どうしてなのか理由を教えてください」や「これは間隔尺度で良かったのでしょうか」などと各受講者から活発な質問があり、ライブ授業ならではの緊張感がありました。

各講座ともおよそ4名の講師で担当されており、「国の統計」と「地方の統計」、あるいは「公的機関」と「民間機関」とで対比されるような講師陣でした。参照する統計データも「国の統計窓口である『e-Stat』」、「地方経済分析システム『RESAS』」などと統計を多角的に学べるものになっていました。統計利用の業務がより理解できるようになったことで、今回の経験を今後に生かしていきたいです。

最後になりますが、専門家による統計データの利用についての授業は大変密度の濃いものでした。熱心で分かりやすい講義をいただいた講師の先生方、研修環境に御配慮くださった統計局関係各位に感謝申し上げます。ありがとうございました。

小売物価統計調査（構造編）2020年（令和2年）結果の概要

小売物価統計調査（構造編）は、物価の地域間比較、店舗の形態別の価格比較などの物価構造を明らかにすることを目的として実施しています。この度、2020年結果を9月17日に公表しましたので、その概要を紹介します。

1 地域別物価水準

（1）都道府県別の物価水準（総合）

2020年（令和2年）平均消費者物価地域差指数（全国平均＝100）の「総合」を都道府県別にみると、東京都が105.2と最も高く、次いで神奈川県（103.2）、京都府（101.6）などとなっています。

一方、最も低いのは宮崎県（95.9）で、次いで群馬県（96.7）、鹿児島県（97.2）などとなっています。

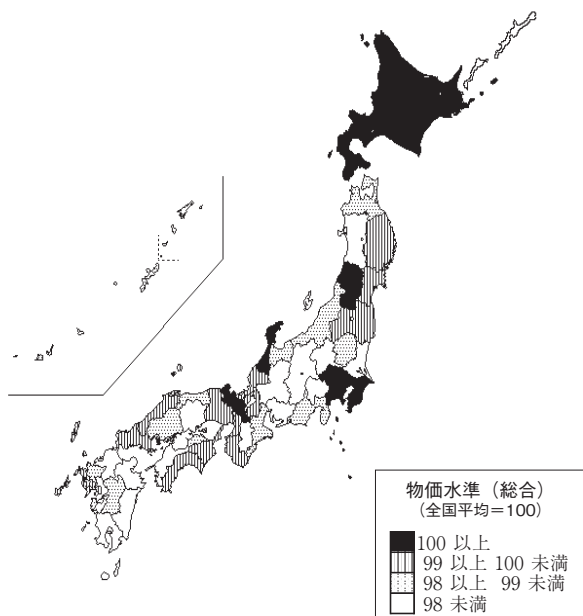
最も高い東京都は最も低い宮崎県に比べて、9.3ポイント高くなっています。（表1、図1）

表1 都道府県別の物価水準（総合）
上位及び下位3都府県

（全国平均＝100）

順位	都道府県	指数	順位	都道府県	指数
1	東京都	105.2	47	宮崎県	95.9
2	神奈川県	103.2	46	群馬県	96.7
3	京都府	101.6	45	鹿児島県	97.2

図1 都道府県別の物価水準（総合）



（2）10大費目別の物価水準

10大費目別に物価水準が最も高い都道府県と最も低い都道府県との比率^{（注）}をみると、「住居」が最も高く、最も高い東京都（134.5）は最も低い鳥取県（82.0）の1.64倍となっています。このほか、「教育」（1.45）、「光熱・水道」（1.25）などで比率が高くなっています。

一方、比率が低いのは、「保健医療」の1.06倍で、次いで「交通・通信」（1.09）、「食料」（1.10）などとなっています。（表2）

$$\text{（注）比率} = \frac{\text{指数の値が最も高い都道府県の指数}}{\text{指数の値が最も低い都道府県の指数}}$$

表2 10大費目別の物価水準

（全国平均＝100）

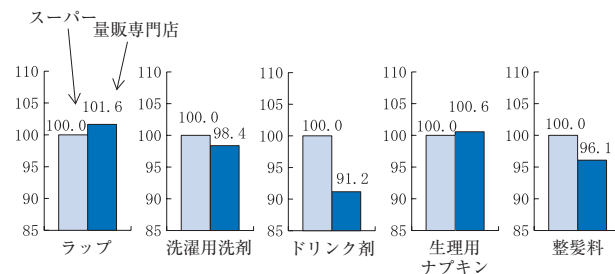
10大費目	指数の値が最も高い都道府県	指数の値が最も低い都道府県	比率
食料	福井県 105.1	長野県 95.7	1.10
住居	東京都 134.5	鳥取県 82.0	1.64
光熱・水道	北海道 116.6	兵庫県 93.3	1.25
家具・家事用品	東京都 103.9	茨城県 93.7	1.11
被服及び履物	栃木県 110.6	香川県 89.5	1.24
保健医療	東京都 102.1	宮崎県 96.1	1.06
交通・通信	東京都 104.9	岡山県 96.2	1.09
教育	大阪府 118.9	群馬県 82.2	1.45
教養娯楽	東京都 104.9	鹿児島県 92.3	1.14
諸雑費	滋賀県 104.6	沖縄県 90.1	1.16

2 店舗形態の違いによる価格水準差

スーパーと量販専門店の価格比較を目的として調査している5品目（ラップ、洗濯用洗剤、ドリンク剤、生理用ナプキン及び整髪料）の結果をみると、洗濯用洗剤、ドリンク剤及び整髪料で量販専門店の価格が低くなっています。（図2）

図2 スーパーと量販専門店の価格水準

（スーパーの年平均価格＝100）



小売物価統計調査（構造編）

<https://www.stat.go.jp/data/kouri/kouzou/index.html>

2020年（令和2年）結果

<https://www.stat.go.jp/data/kouri/kouzou/gaiyou.html>

とうけい通信①



「みんなが輝く 全国に誇れる ふくい」を目指して

福井市都市戦略部情報統計課

1 福井市概要



福井市は、九頭竜、足羽、日野の三大河川の扇状地である福井平野の中心に位置し、白山を主峰とする白山連峰を望み、風光明媚な日本海を有する自然豊かなまちです。

平成18年に3町村と合併し現在の福井市となりました。平成31年4月1日には、市民サービスの向上と人口減少などの課題を克服するため、中核市に移行しました。

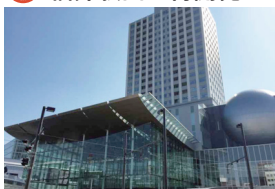
沿革	
・明治22年4月1日	市制施行
・平成12年11月1日	特例市に移行
・平成18年2月1日	3町村と合併
・平成31年4月1日	中核市に移行
面積 536.41km ²	
人口及び世帯数 (令和2年国勢調査速報値)	
・人口	262,501人
・世帯数	104,317世帯

2 福井市の魅力

令和6年春の北陸新幹線福井開業に向け、福井のいいところを分かりやすくアピールするため、PRロゴを制作し福井市の魅力の発信に努めています。



福井駅西口再開発ビル「ハピリン」



にぎわい交流拠点「ハピリン」

県都福井の玄関口であるJR福井駅の周辺では再開発が進められています。平成28年4月にJR福井駅西口に福井市のランドマークである「ハピリン」がオープンしました。日本一美しい8K映像が楽しめるドームシアターや、県内の

特産品を一堂にそろえた観光物産館「福福館（ふくぶくかん）」があり、1階屋根付き広場「ハピテラス」では様々なイベントが実施されています。

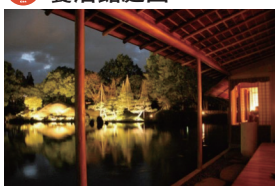
一乗谷朝倉氏遺跡



城下町を再現した「復原町並」

中世に、一乗谷に居を構えた戦国大名朝倉氏の城下町で、天正元年に焼失しましたが、そのままの姿で現存する極めて貴重な遺跡です。国の特別史跡・特別名勝・重要文化財の三重指定を受け、季節ごとに魅力的なイベントも実施されます。

養浩館庭園



夜の「養浩館庭園」

松平家の別邸である養浩館は国の名勝に指定され、その庭は美しく、アメリカの庭園雑誌では常に上位の高評価を受けています。

ふくいの食

「越前がに」は冬の味覚の王様で11月6日に漁が解禁されます。その肉質は甘く引き締まり、数あるズワイガニの中でもトップクラスです。雌は「せいこがに」と呼ばれ、カニ味噌と朱色の内子がぎっしりと詰まり、丸々一匹どんぶりにした「せいこ丼」はカニのいいところを存分に味わうことができます。

また、「ソースカツ丼」は濃い目の特製ソースをまとった肉汁あふれる薄めのカツが特徴の福井が誇るB級グルメです。福井では「越前おろしそば」とのセットメニューが大変人気で、相性も抜群です。



「越前がに」



「ソースカツ丼」

ちなみに、家計調査（二人以上の世帯）の2018年～2020年平均の品目別都道府県庁所在市及び政令指定都市支出ランキングで、福井市は「カツカツ」が1位、「かに」が2位、「日本そば・うどん（外食）」が3位と市民に愛されています。そのほか、昭和38年以降連続1位である「揚げ・がんもどき」や「コロッケ」を始め、「てんぷら・フライ」、「こんぶつくだ煮」も1位であり、全国に誇れる魅力ある食がたくさんあります。

3 新幹線福井開業に向けて

現在、令和6年春の北陸新幹線福井開業に向け、様々な建設工事が進められています。また、令和8年春には中部縦貫自動車道の県内全線開通も予定され、大都市圏へのアクセスや市民生活が飛躍的に向上します。

●北陸新幹線福井駅舎の建設



北陸新幹線福井駅完成イメージ図

新幹線福井駅は開放的なガラスの壁面や、一乗谷朝倉氏遺跡の唐門をモチーフにした木調ルーバーなど、特徴的なデザインとなっています。

●福井市中心市街地の再開発の様子



再開発の様子（2021年7月）

商業施設の更新に加え、生活利便施設等を整備し、都市機能の更新を図るとともに、新たな集い・賑わい・憩いのある交流拠点を創出するため再開発を進めています。

魅力いっぱいの福井市にお越しください。

○福井市観光公式サイト 福いろ

<https://fuku-iro.jp>



最近の数字

		人 口		労 働・賃 金			産 業		家計(二人以上の世帯)		物 価	
		総人口 (推計による人口)		就業者数	完全失業率 (季節調整値)	現金給与総額 (規模5人以上)	鉱工業 生産指数 (季節調整値)	サービス産業 の月間売上高	1世帯当たり 消費支出	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯)	消費者物価指数	
		千人(Pは万人)	万人	%	%	円	2015=100	兆円	円	円	全国 2020=100	東京都区部 2020=100
実数	2021. 5	125,339	6667	3.0		273,915	93.5	28.1	281,063	367,866	99.4	99.5
	6	P 12547	6692	2.9		442,821	99.6	P 29.9	260,285	724,719	99.5	99.5
	7	P 12536	6711	2.8		371,141	98.1	P 29.7	267,710	538,529	99.7	99.8
	8	P 12530	6693	2.8		274,671	94.6	P 28.8	266,638	452,559	99.7	99.8
	9	P 12521	6679	2.8		P 270,019	P 89.5	...	265,306	389,944	100.1	100.1
	10	P 12512	...	...		...	...	...	...	...	...	P 99.9
前年 同月比	2021. 5	-	0.2	* 0.2		1.9	* -6.5	14.0	12.5	-3.1	-0.8	-0.9
	6	-	0.3	* -0.1		0.1	* 6.5	P 3.0	-4.3	-13.6	-0.5	-0.5
	7	-	0.8	* -0.1		0.6	* -1.5	P 2.5	0.7	-3.7	-0.3	-0.4
	8	-	0.3	* 0.0		0.6	* -3.6	P 0.3	-3.0	4.2	-0.4	-0.4
	9	-	-0.1	* 0.0		P 0.2	* P -5.4	-	-1.9	2.2	0.2	0.3
	10	-	-0.1	* 0.0		P 0.2	* P -5.4	-	-1.9	2.2	0.2	0.3

(注) P:速報値 * :対前月
家計(二人以上の世帯)の前年同月比は実質値

掲示板 統計関係の主要日程 (2021年11月～12月)

《会議及び研修関係等》

時 期	概 要	時 期	概 要
11月1日	オンライン統計研修【第3回】政策立案・評価・データ活用コース「データサイエンス演習」開講(～26日)	12月13日	分野別研修マイクロデータコース「マイクロデータ分析のためのプログラミング-統計解析ソフトRの利用方法-」【WEB開催】(～14日)
〃	オンライン統計研修【第3回】統計作成実務コース「統計データのできるまで-統計的推測の基礎①-」開講(～26日)	20日	分野別研修政策立案・評価・データ活用コース「政策立案と統計」【集合・WEB開催】(～22日)
8日	オンライン統計研修【第3回】政策立案・評価・データ活用コース「誰でも使える統計オープンデータ」開講(～12月3日)	23日	分野別研修政策立案・評価・データ活用コース「政策評価と統計」【集合・WEB開催】(～24日)
〃	オンライン統計研修【第3回】統計作成実務コース「統計データのできるまで-統計的推測の基礎②-」開講(～12月3日)		
29日	分野別研修経済統計コース「経済予測」開講【WEB開催】(～12月3日)		

《調査結果の公表関係》

時 期	概 要	時 期	概 要
11月5日	家計調査(家計収支編:2021年9月分及び2021年7～9月期平均)公表	12月7日	家計消費状況調査(支出関連項目:2021年10月分)公表
〃	家計消費状況調査(支出関連項目:2021年9月分及び2021年7～9月期平均 ICT関連項目:2021年7～9月期平均)公表	〃	消費動向指数(CTI) 2021年10月分公表
〃	消費動向指数(CTI) 2021年9月分及び2021年7～9月期平均公表	中旬	2021年科学技術研究調査結果公表
〃	小売物価統計調査(ガソリン) 2021年10月分公表	20日	人口推計(2021年7月1日現在確定値及び2021年12月1日現在概算値)公表
9日	労働力調査(詳細集計) 2021年7～9月期平均公表	23日	住民基本台帳人口移動報告(2021年11月分)公表
19日	消費者物価指数(全国:2021年10月分)公表	24日	消費者物価指数(全国:2021年11月分)公表
〃	小売物価統計調査(全国:2021年10月分)公表	〃	小売物価統計調査(全国:2021年11月分)公表
22日	人口推計(2021年6月1日現在平成27年国勢調査を基準とする推計値及び2021年11月1日現在概算値)公表	28日	労働力調査(基本集計) 2021年11月分公表
〃	第71回 日本統計年鑑(令和4年)刊行	〃	サービス産業動向調査(2021年10月分速報及び2021年7月分確報)公表
26日	消費者物価指数(東京都区部:2021年11月分(中旬速報値))公表	31日	統計トピックス 「寅年生まれ」と「新成人」の人口-令和4年 新年にちなんで-公表
〃	小売物価統計調査(東京都区部:2021年11月分)公表		
30日	労働力調査(基本集計) 2021年10月分公表		
〃	住民基本台帳人口移動報告(2021年10月分)公表		
〃	サービス産業動向調査(2021年9月分速報及び2021年7～9月期速報並びに2021年6月分確報及び2021年4～6月期確報)公表		
〃	令和2年国勢調査 人口等基本集計公表		
12月3日	小売物価統計調査(ガソリン) 2021年11月分公表		
7日	家計調査(家計収支編:2021年10月分)公表		

編集発行



総務省統計局

〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1

総務省統計局 統計情報利用推進課 情報提供第一係

TEL 03-5273-1160 E-mail y-teikyoul@soumu.go.jp

ホームページ <https://www.stat.go.jp/>

御意見・御感想をお待ちしております。